

でんきいし
電気石



Schorl 鉄電気石

化学組成：

$\text{NaFe}_3\text{Al}_6(\text{B}_3\text{O}_3)_3\text{Si}_6\text{O}_{18}(\text{OH})_4$

産地：ブラジル

特徴：珪酸塩鉱物の一種。熱したり摩擦すると静電気を帯びることからこの名前になった。含まれる成分の違いで、いろいろな色になる。黒色の鉄電気石は最も一般的な電気石。電気石はトルマリンとも呼ばれ、宝石として扱われるものもある。

マグマが深成岩になる時に、水晶やトパーズなどの粗い結晶が現れることがある。これをペグマタイトと呼ぶ。電気石はこのペグマタイト中にできることが多い。



化石体験ミニ発掘 クリスタル

足寄動物化石博物館

20 年 月 日